

YHC5150X FieldMate ハンドヘルドコミュニケーターはじめに

概要

YHC5150X FieldMate ハンドヘルドコミュニケーターは、HART®規格のユニバーサルコマンド、コモンプラクティスコマンド、デバイススペシフィックコマンドを全てサポートするハンドヘルドコミュニケーターです。

HART® コネクタ

**タッチスクリーン
(スタイラス不要)**

標準配列英文字キー

ナビゲーションキー

インフォメーション、アドバンスキー

数字キー

電源キー

バックライトキー

充電時の LED 表示
 バッテリー充電時には、ドッキングステーションの LED ライトの色が、充電モードによって変わります。
オフ
 - バッテリーパックが未装着か電源が入っていません。
緑色の点灯
 - バッテリーの充電が完了しました。
アンバー色の点滅
 - バッテリーに充電しています。
アンバー色の点灯
 - バッテリーが充電可能温度範囲外です。
赤色の点滅
 - バッテリーの異常です。
赤色の点灯
 - 充電の異常です。

バッテリーパックの装着と取り外し I

NOTICE バッテリーケースを過度に締めないでください。(最大トルク 0.79 N・m)

NOTICE 最初のバッテリー充電は完全に充電 (6 時間) してください。

7/64" 六角ソケット
6-32 ネジ

μSD メモリカード
挿入スロット

NOTICE メモリを交換の際は、横河電機パーツ 1W-9P780 か後継パーツのみを使用し、必ず横河電機担当者の指示に従ってください。指定メモリ以外の使用は、安全の認証が無効になる可能性があります。

WARNING ドッキングステーションでの充電は、本質安全防爆に含まれません。防爆エリア (危険エリア) 内での使用しないでください。本体取扱説明書 IM 01R01A30-01EN の Control Drawing の "Hazardous Area Use" の部分を参照ください。

バッテリーの装着と取りはずし

バッテリーパックは二つのネジ (7/64" 六角レンチの 6-32 標準ネジ) で本体に固定されています。バッテリーケースのネジを過度に締めつけないでください。

装着: 平らで安定した場所で、表示器を下にして、本体を置きます。装着スペース内のコネクタとバッテリーパックを 1cm 程離して置きます。バッテリーパックを装着スペースに沿って、コネクタが完全に接する様に、上にスライドします。ネジを留めて、装着が完了します。

取り外し: 上記操作の逆の手順を実施してください。

NOTICE バッテリーパックには高性能な容量管理機能が含まれており、自律的に容量を監視しています。そのためバッテリーパックの使用において、バッテリーの初期化処理などは必要ありません。

NOTICE ドッキングステーションは、バッテリーパック単体での充電をサポートしていません。正しく充電するには、バッテリーパックをコミュニケーター本体に装着してからドッキングステーションに置いてください。

YHC5150X FieldMate ハンドヘルドコミュニケーターの立ち上げ

電源ボタンを 1 秒間押し続けて離します。約 2 秒後に、スプラッシュ画面が表示され、YHC5150X FieldMate ハンドヘルドコミュニケーターのアプリケーションが起動します。

HART® 機器の接続

電源投入時に、メインシステムメニューが初期画面で表示されます。HART® メニューからもいつでもアクセス可能です。

システムメニュー

選択アイテム (赤い囲み)

HART® 接続

5150 Field Communicator 2:06 PM

システムナビゲーション
(アイコンをタッチまたは数字を選択)

1. ハンドヘルドセットアップアイコン
2. HART® セットアップアイコン
3. システム情報アイコン

Repolling

バッテリー残量/時刻

システムメニュー (トップ、センター、ボトム) の 3 エリアで構成

HART® ポーリングアドレス範囲選択
は、ポーリングするアドレス範囲を選択するか、タグやロングタグで選択できます。

HART® 接続の表示

no device found 有効なポーリング範囲に機器が見つからなかったときに表示されます。コミュニケーターは HART® セットアップで選択した HART® アドレス範囲をポーリングし続けます。もしポーリングアドレス範囲が一つで、機器の接続を確立した場合、他の機器へのポーリングを中止します。ポーリングアドレス範囲が複数のアドレスで、機器の接続を確立した場合、接続可能な機器を見つけるために、全範囲のアドレスをサーチし続けます。

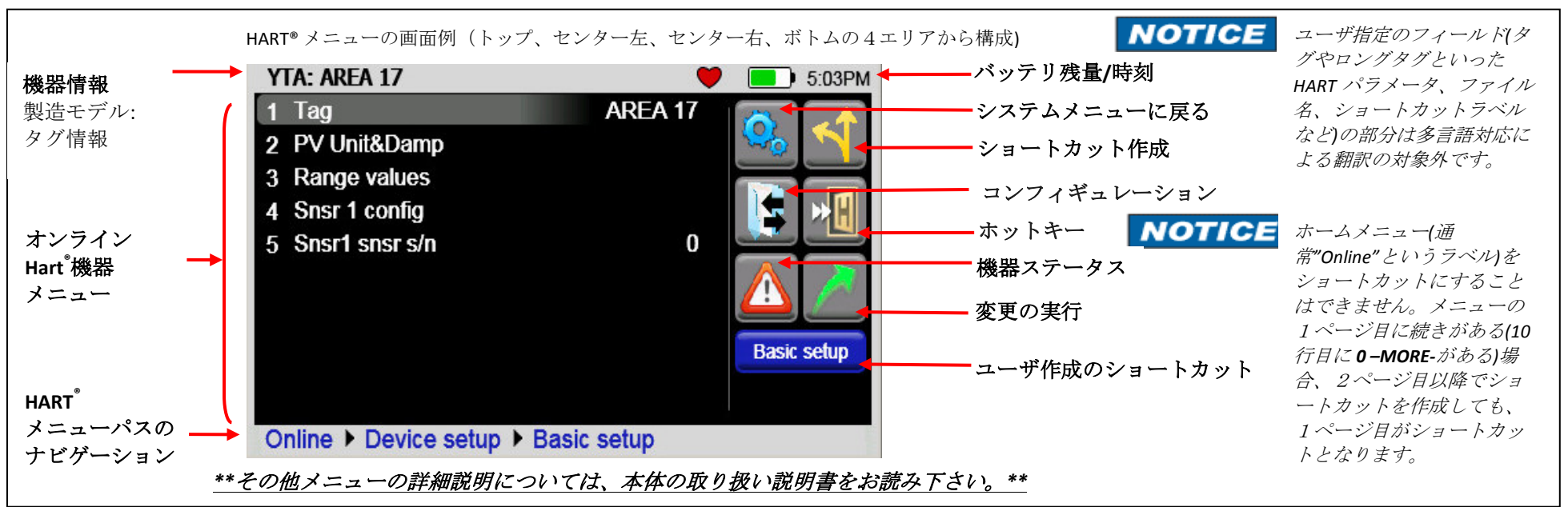
Devices Found 2 ポーリング範囲に複数の機器が見つかり、どちらかの機器を選択しなければならないときに表示されます。黄色のアイコンを押すと、ポーリングアドレス範囲の全機器のリストボックスが表示されます。一度機器を選択して、“Accept” を選択すると、リストボックスが消えて、コミュニケーターが接続を開始します。

Initiating Device 選択された機器に接続を確立し、機器情報記述 (DD: Device Description) を読みこんでいるときに表示されます。

EJA: 5C-449 通信が確立し、機器が HART® ネットワークに正常に接続したときに表示されます。コミュニケーターは他の機器に連続して接続に行くことはありません。緑のバーを選択すると、コミュニケーターはシステムメニューから、オンライン HART® メニューに移ります。

オンライン HART® メニュー - (SDC-625)

HART® 機器メニューは、HART® 通信可能な機器が接続され、HART® と通信できる時のみ、アクセス可能です。



NOTICE オンラインにおけるパラメータの変更を行ってから、変更の実行を行う前に設定の呼び出しを行ってしまうと、そのパラメータが保存対象だった場合に変更データは失われます。

CAUTION 爆発による重症や死亡に至る恐れがあります。HART® 端子で本質安全防爆モデルのハンドヘルドターミナルを接続する前に、接続対象のHART® 機器が本質安全防爆のフィールド配線慣行に従っていることを確認してください。

注意: 防爆エリアにおける本質安全防爆機器の使用には、制限事項があります。本体取扱説明書 IM 01R01A30-01EN の Intrinsic Safety Control Drawing を参照ください。本体取扱説明書 IM 01R01A30-01EN の Intrinsic Safety Control Drawing は横河電機によって予告無く変更されることがあります。最新の Intrinsic Safety Control Drawing については、横河電機(phone 800.888.6400)にご連絡ください。

本質安全防爆モデルのYHC5150X については、制限事項、使用上の特別な指示、許される電気接続について、本体取扱説明書 IM 01R01A30-01EN の Intrinsic Safety Control Drawing を参照ください。

WARNING 本質安全防爆モデルのYHC5150X については、ループ内の機器が本質安全防爆のフィールド配線慣行に従っていることを、本機のループ接続端子をフィールド機器に接続する前に確認してください。本体取扱説明書 IM 01R01A30-01EN の Control Drawing の “Hazardous Area Use” の部分を参照ください。

WARNING YHC5150X モデルに対する以下の警告および要件にご注意下さい:

- 部品の交換は本質安全防爆を損なう恐れがあります。
- 可燃物や爆発性雰囲気への点火を避けるために;
 - 使用前に AC 電源から切り離すこと
 - ドッキングステーションを防爆エリアで使用しないこと
 - バッテリーパックを開けてバッテリーを交換しようとしなないこと

安全上の注意

WARNING バッテリーを高温に晒さないでください。過熱、発火、破裂、爆発の恐れがあります。

CAUTION ドッキングステーションやドッキングステーションに挿入したYHC5150X に触れた際に感電した場合、すぐにドッキングステーションの電源をコンセントから抜いてください。安全になったと判断したら、すぐにYHC5150X をドッキングステーションから取り外してください。

CAUTION ドッキングステーションや電源コードやAC アダプタに、変形や亀裂やその他の破損がある場合は、ドッキングステーションの電源を抜いて使用を中止してください。

CAUTION どの部品に対しても、分解や改造は行わないでください。故障や負傷の原因になる可能性、認証が無効になる可能性、保証が無効になる可能性があります。

CAUTION AC アダプタは直接コンセントに差し込んでください。延長コードを使用しないで下さい。